

R7 学校評価アンケート自由記述に対する具体的改善アクション

- ①学校と保護者の関わりについて
- ⑦地域行事への参加について

全員参加を強いることはできないため、事前に情報をいただき、教職員に向けて地域行事一覧表等により案内し、参加の啓発を行います。

- ②学校評価アンケートについて

HP や学級通信で単なる「行事報告」ではなく、「この活動で、子どもたちの〇〇という力がどう伸びたか」という視点をセットで発信します。これにより、保護者がアンケートで評価すべき「ポイント」が明確になります。また保護者との面談の機会を増やす等、対話できる場面を作り、学校での様子をお伝えしていきます。

- ③児童クラブの環境改善について

児童クラブ定例会等で、児童クラブの指導員と協議し、「学習専用の教室」として学校の空き教室を貸し出す等、物理的な環境分離を自治体に働きかけます。

- ④体力向上への取組について

体育の授業の最初に縄跳びの時間を設定するなど、体を動かす楽しさを体感したり、検定表を用いて意欲や達成感を高めさせる等の取組を行っていきます。

- ⑤感染症等の情報共有について

プライバシーを配慮しつつも「〇年生で〇名、欠席者（発熱等）が急増」といった情報を、安心安全メール等で、発生当日中に一斉配信していきます。

- ⑥先生方のエチケットについて

勤務時間内の禁煙の徹底はもちろん「子どもと接する前の消臭（手洗い、うがい、衣類へのスプレー）」を徹底していきます。教職員同士も互いに注意し合うようにします。

- ⑧メディア・SNSトラブルへの対応について

学期1回、SNSのトラブルを防ぐための授業を行います。参観日では、保護者と一緒に家庭でのルール決めを行う予定です。

- ⑨外部試験の情報提供について

全学年に、英検・漢検・数検の案内を配付し、学校から保護者向けの案内も配付します。

- ⑩表現力の向上について

5～9年生の課題の+αに作文を入れます。コンクール等の募集案内を掲示し、通信やHPでお知らせし、積極的に応募するように働きかけます。

- ⑪キャリア教育の内容精査について

「みさとみらいワークランド」において、事務所の協力を得ながら、発達段階に応じた役割を明確に分け、主体的な体験活動となるように工夫します。

- ⑫卒業証書について

伝統に関わる変更（仕様変更、廃止等）を行う際は、「①目的の提示、②児童生徒・保護者へのアンケート、③対面での説明会、④最終決定」という段階を必ず踏み、決定し、公表いたします。

※ 令和8年度4月より改善を図ってまいります。時間を要する内容もあります。順次、保護者向けの案内をし、合意形成を行いながら進めてまいります。ご理解とご協力をお願い致します。